

第 105 回完ナビ 訂正表

※ が訂正箇所になります。

ページ		
P161	訂正前	<p>問 164 設問 2</p> <p>設問の作用を示す心不全治療薬として、ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド (hANP) 製剤のカルペリチドがある。本薬は、膜結合型グアニル酸シクラーゼを活性化することにより、細胞内サイクリック GMP (cGMP) 濃度を上昇させ、血管拡張作用や利尿作用を示す。動脈及び静脈に対する拡張作用が現れるため、前負荷及び後負荷を軽減する。</p>
	訂正後	<p>問 164 設問 2</p> <p>設問の作用を示す心不全治療薬として、ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド (hANP) 製剤のカルペリチドがある。本薬は、膜結合型グアニル酸シクラーゼを活性化することにより、細胞内サイクリック GMP (cGMP) 濃度を上昇させ、血管拡張作用や利尿作用を示す。これらの作用により前負荷及び後負荷を軽減する。</p>

ページ		
P161	訂正前	<p>問 164 設問 3</p> <p>設問の作用を示す心不全治療薬として、コルホルシンダロパートがある。本薬は、アデニル酸シクラーゼを活性化することにより細胞内サイクリック AMP (cAMP) 濃度を上昇させ、心収縮増大作用及び末梢血管拡張作用を示す。末梢血管拡張作用により後負荷を軽減するが、前負荷に対しては影響を与えない。</p>
	訂正後	<p>問 164 設問 3</p> <p>設問の作用を示す心不全治療薬として、コルホルシンダロパートがある。本薬は、アデニル酸シクラーゼを活性化することにより細胞内サイクリック AMP (cAMP) 濃度を上昇させ、心収縮増大作用や血管拡張作用を示す。これらの作用により前負荷及び後負荷を軽減する。</p>

ページ		
P161	訂正前	<p>問 164 設問 4</p> <p>設問の作用を示す心不全治療薬として、ミルリノンなどのホスホジエステラーゼ III (PDEIII) 阻害薬がある。これらの薬物は、PDEIII を阻害して cAMP の分解を抑制することにより細胞内 cAMP 濃度を上昇させ、心収縮増大作用及び末梢血管拡張作用を示す。末梢血管拡張作用により後負荷を軽減するが、前負荷に対しては影響を与えない。</p>
	訂正後	<p>問 164 設問 4</p> <p>設問の作用を示す心不全治療薬として、ミルリノンなどのホスホジエステラーゼ III (PDEIII) 阻害薬がある。これらの薬物は、PDEIII を阻害して cAMP の分解を抑制することにより細胞内 cAMP 濃度を上昇させ、心収縮増大作用や血管拡張作用を示す。これらの作用により前負荷及び後負荷を軽減する。</p>

ページ		
P161	訂正前	<p>問 164 設問 5</p> <p>設問の作用を示す心不全治療薬として、ニトログリセリンなどの硝酸薬がある。これらの薬物は、血管平滑筋細胞において一酸化窒素（NO）を遊離して、細胞内の可溶性グアニル酸シクラーゼを活性化することにより、細胞内 cGMP 濃度を上昇させ、血管拡張作用を示す。動脈及び静脈に対する拡張作用が現れるため、 前負荷及び後負荷を軽減する。なお、硝酸薬は主に急性心不全に使用され、慢性心不全に対しては積極的に使用されていない。</p>
	訂正後	<p>問 164 設問 5</p> <p>設問の作用を示す心不全治療薬として、ニトログリセリンなどの硝酸薬がある。これらの薬物は、血管平滑筋細胞において一酸化窒素（NO）を遊離して、細胞内の可溶性グアニル酸シクラーゼを活性化することにより、細胞内 cGMP 濃度を上昇させ、血管拡張作用を示す（前負荷及び後負荷を軽減する）。なお、硝酸薬は主に急性心不全に使用され、慢性心不全に対しては積極的に使用されていない。</p>